



太物多く、食味は良好 J A 会津よつばの春アスパラ出荷本格化！

福島県 J A 会津よつばアスパラガス試食宣伝会

- 期日：4月25日(火)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：J A 全農福島、J A 会津よつば
- 内容：J A 会津よつば産アスパラガスの紹介や試食宣伝等

■ 国産で4位、甘みあり品質良好！

福島県の J A 会津産アスパラガスの入荷が本格化することから、J A 会津よつばと J A 全農福島が大田市場で試食宣伝会を開催しました。

国産アスパラガスの H28 年都中央入荷量は、栃木県が1位(占有率 12.5%)で、佐賀県、長崎県に次いで、福島県は4位、占有率が 7.8%です(群馬県は15位、0.7%)。

今年は前年秋の株養成時の天候が悪く、また年明けの気温が低く積雪も多かったことから生育はやや遅れており、出荷量は前年をやや下回ると見込まれています。しかし、太物の割合は前年並みで、食感良く甘みもあり品質は良いとのことでした。

■ カラフルなアスパラガスで産地を P R !

福島県産のアスパラガスの約 90%は会津産が占めています。当地区はグリーンアスパラガス、ホワイトアスパラガスに加えて、全国的にも珍しい紫アスパラガスや今年度から本格的に P R を始めた桜アスパラガスの4色のアスパラガスで産地を P R にしています。

主力はグリーンアスパラガスで全体の約 90%を占めており、ハウス全体を遮光して栽培するホワイトアスパラは約 10%とのことでした。また、生産者はまだ少ないですが紫アスパラガスの栽培も行っています。現状は「パープルパッション」というアメリカの品種を用いていますが、福島県農業総合センターで「はるむらさきエフ」(2009年品種登録)という紫系のオリジナル品種が育成され、県をあげてアスパラガスの生産拡大に取り組んでいます。さらに、紫アスパラガスをベースにし、ホワイトアスパラガスの栽培法で栽培したピンク色の「桜アスパラ」も今年発表され、会津の新名物になるように地域をあげて P R しています。

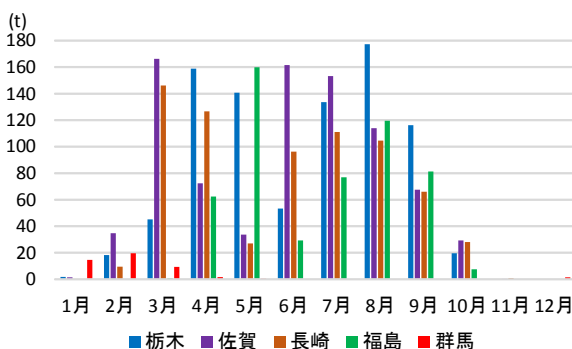
当日は、ほんだしを使った「アスパラガスのだし煮」が市場関係者に試食提供されました。レシピの配布も行われ、積極的に会津産アスパラガスの食味の良さを宣伝していました。



J A 会津産アスパラガス試食宣伝の様子



試食品とレシピ紹介の様子



都中央におけるアスパラガスの月別・産地別入荷量 (H28)



アスパラガス展示と宣伝ポスターの様子